

## 間宮林蔵測量図に記載されたえりも地域の地名について

中岡利泰<sup>1)</sup>

はじめに

伊能忠敬は寛政十二年（1800）に初の測として、江戸から蝦夷地へ渡り、松前～箱館～北海道太平洋岸の海岸線をたどり、国後島を望む別海まで測量した<sup>(1)</sup>（第一次測量）。その際、前年の寛政十一年に開削された猿留山道を通り測量している<sup>(2)</sup>。

全国の海岸線等を測量し地図にした「大日本沿岸輿地全図」は伊能忠敬が没した文政元年（1818）の3年後文政四年（1821）に完成している<sup>(1)</sup>。

「大日本沿岸輿地全図」には、蝦夷地（北海道）も現在の地形図とほぼ同様に描かれている。

しかし、伊能忠敬の第一次測量において、伊能ら一行は、幌泉（現：えりも町字本町）を出立、海岸を進みコロップ

（現：えりも町字歌別のコロップ）から、猿留山道に入り、山中を進みサルル（現：えりも町字目黒）に到達しており、襟裳岬へは足を運んでいない。このため伊能が指揮し著した「伊能忠敬 松前藩蝦夷行程測量分図ミツイシ～ピロオ」（国立公文書館）には、襟裳岬付近に「不測量」と明記されている<sup>(3)</sup>（図1.）。

また、伊能忠敬記念館の蔵書「寛政十年測量江戸至蝦夷西別小図」（地図・図類番号1）にも襟裳岬付近にも「不測量」と明記されている（図2.）。中図については、調査時には修復に出されていたことから、残念ながら直接確認することはできなかった。

伊能らが測量した寛政十二年（1800）から、「大日本沿岸輿地全図」が完成した文政四年（1821）までの間に、伊能が測



図1. 「伊能忠敬 松前藩蝦夷行程測量分図ミツイシ～ピロオ」（国立公文書館蔵）

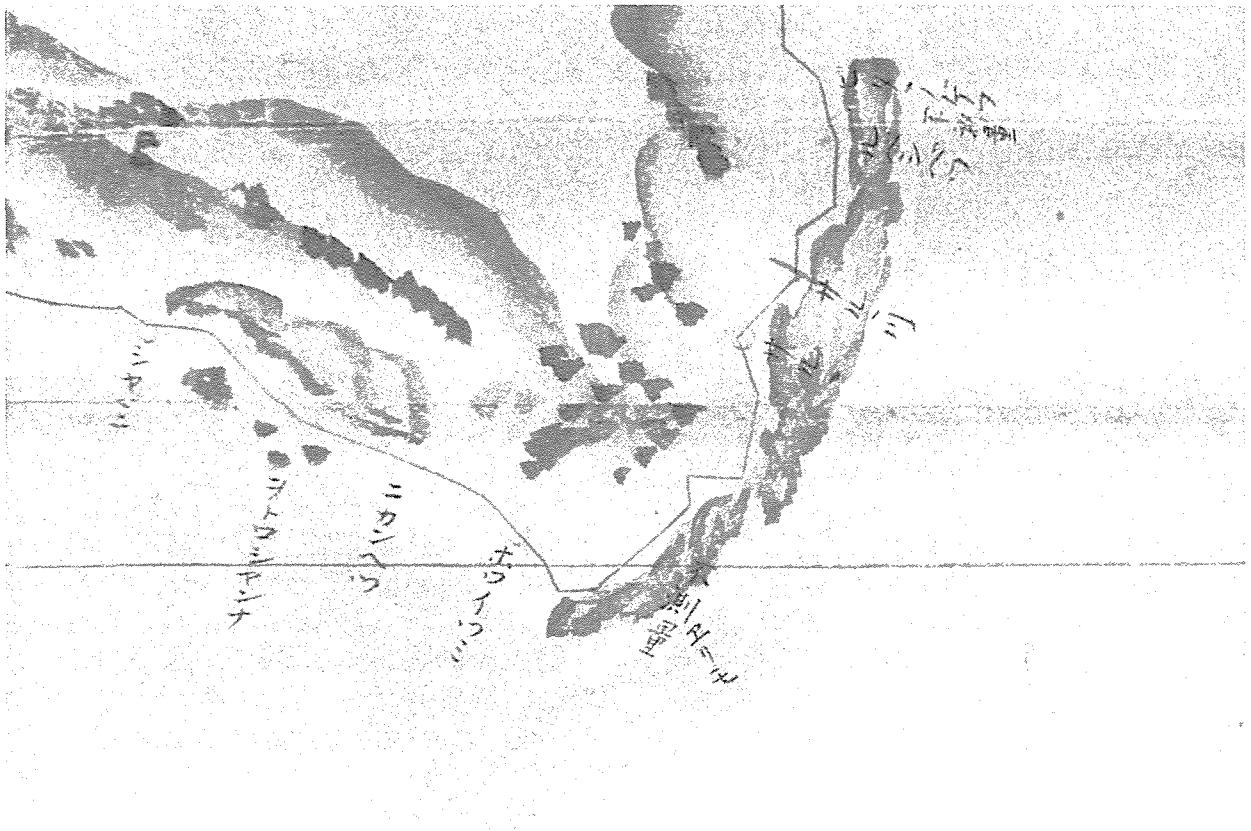


図2.「寛政十二年測量江戸至蝦夷西別小図」(伊能忠敬記念館蔵)

量できなかつた蝦夷地の地域の一つが、幌泉～襟裳岬～百人浜～庶野～猿留の襟裳岬を中心とした東西海岸線である<sup>(4)</sup>。この区間を間宮林蔵が測量し、その測量値を用いて、「大日本沿岸輿地全図」が製作されたということは広く知られている。<sup>(5)</sup>

での地名を測量地図の記載順に掲載(表.1)し、えりも町史<sup>(6)</sup>および改定様似町史<sup>(7)</sup>に記載された地名を併記し比較検討した。えりも町史、改定様似町史ともに既存の文献を参考にした。なお、改定様似町史は地域のアイヌの意見も取

今回、伊能忠敬記念館(千葉県佐原市)を訪問する機会を得るとともに、ご厚意により間宮林蔵が測量したであろう測量図「自シヤマニ至ホンヒタネシゲ下図」(地図・絵図類 244)(以下「間宮測量図」とする。)を調査することができた(図3.～7.)。

この測量図の成立年は1809～1821年の間であろうと伊能忠敬記念館の酒井一輔学芸員から指導を受けた。

ここでは、間宮測量図に記されている地名、伊能大図(2004年7月30日～8月1日帯広市十勝プラザにて開催された「全国巡回アメリカ伊能大図里帰りフロア展」主催:伊能大図帯広地区フロア展実行委員会)の地名について、様似町からえりも町全域、えりも町と広尾町との境界ま

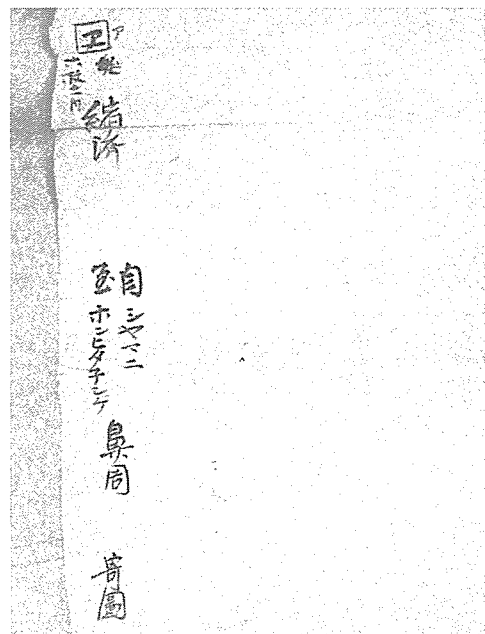


図3.「自シヤマニ至ホンヒタネシゲ下図」の題(伊能忠敬記念館蔵)

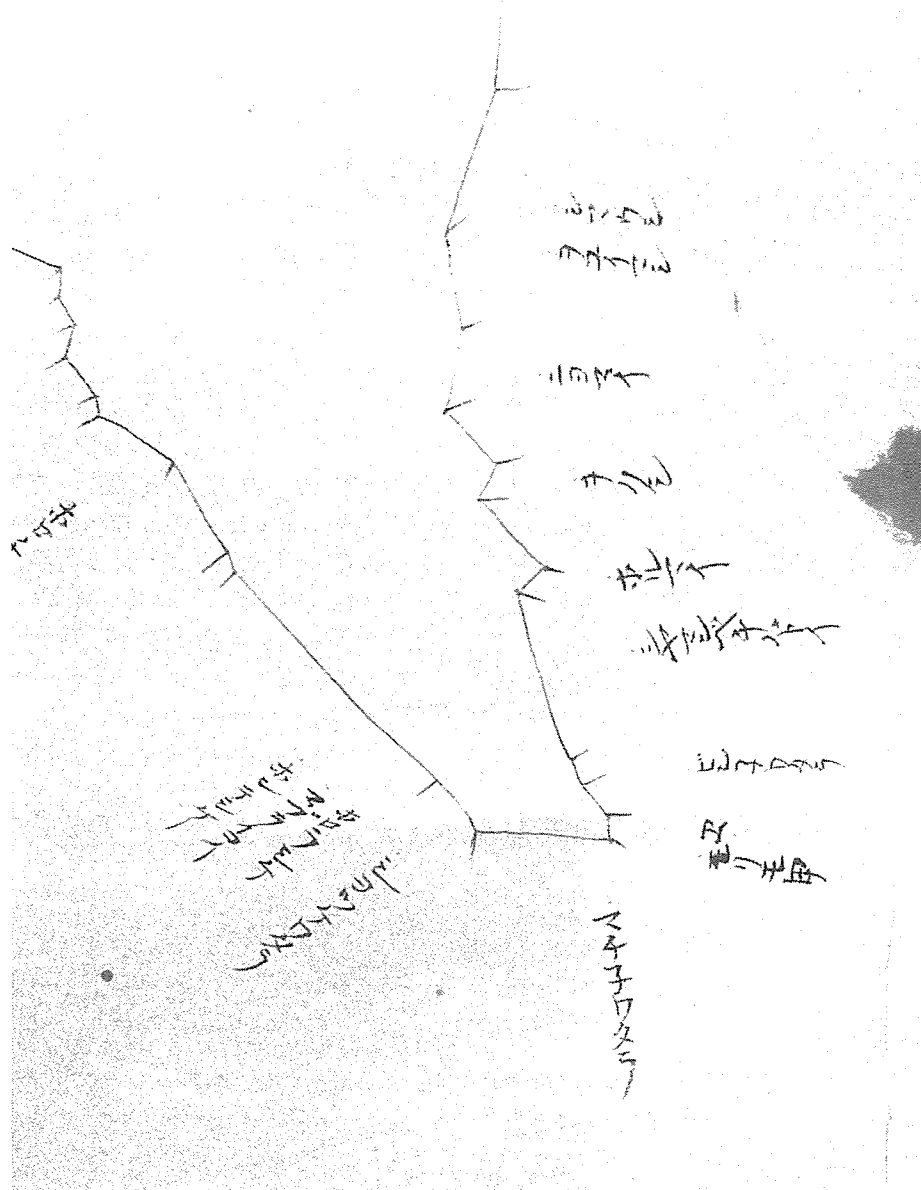


図4.「自シヤマニ至ホンヒタネシゲ下図」のエリモ岬付近拡大  
(伊能忠敬記念館蔵)

り入れている。両町史に記載があり、間宮測量図に記載がない地名は割愛した。なお、間宮測量図の地名には便宜上番号を付けた。

まとめ

- 1) 間宮測量図には 110 地名、アメリカ伊能大図には 38 地名が記載されていた。001「シヤマニ」003「シヤマニ」と重複があった。
- 2) 間宮測量図に記載がありアメリカ伊能大図に記載がない地名は 76 地名であった。
- 3) 間宮測量図とアメリカ伊能大図の地名の違いのうち、「岬」「川」の有無は 017「イワオイ岬」036「アベヤニ」048「コ

ロフル」050「フツルペルイ川」の 4 地名であるが、いずれも語尾に「岬」「川」が記されていない。

4) 間宮測量図とアメリカ伊能大図に記載されている地名の違いは次の 7 地名である。

- 005「ヒラウトロ」～「ヒラウトル」
- 022「ホロマンベツ川」～「ホロベツ川」
- 068「アブラコマイ」～  
「アフラコマイウコシ」
- 075「エリモ甲」～「エリモ岬」  
誤写と考えられる。
- 094「ブユマシマ」～「フユマシマ」
- 103「ウエンベシ」～「ウエンベツ」
- 110「ホンヒタ子シゲ」  
～「ホンヒタチシゲ」

022 はアメリカ伊能大図の誤記であり、場所的に「ホロマンベツ川」である。他は濁点のあるなし、発音の違い、「シ」と「ツ」、「子」と「チ」の読み違いに起因していると考えられた。

068「アブラコマイ」～「アフラコマイウコシ」については、再検討が必要である。

5) アメリカ伊能大図に記載され間宮測量図に記載のない地名は 080-081 の「ホルマイ」087-088 の「ヲトシヤ川」の 2 地名である。「ホルマイ」についてはえりも町史には記載がない。「ヲトシヤ川」については、えりも町史によると「オトベ」原名「オトンペ」「オ・ト・ウン・ペツ」が推測されるがはっきりとしない。

6)「018 チャラセナイ」「023 ヒトツケブ」の 2 地名が様似町史に記載がなく、「020 子ンブツサカ」は、多くの紀行文に記載されている'念仏坂'のことで、和人が名づけた地名である。

7) えりも町地域の地名 028～110 の 83 地名の内、えりも町史に記載されていない地名は 19 地名あった。

今後、他の文書類、絵図などと比較し、地名について再検討する必要がある。

#### 参考文献

- (1) 星埜由尚「伊能忠敬」2010. pp94. 山川出版社。
- (2) 伊能忠敬「蝦夷干役志」千葉県史料近世編伊能忠敬測量日記 1. 千葉県. 1988. pp565.
- (3) えりも町郷土資料館「ふるさと再発見シリーズ 3. 猿留山道」2003. pp58. えりも町教育委員会。
- (4) 井口利夫「間宮林蔵の東蝦夷地測量一文政上程図にその足跡を探す」2005. 伊能忠敬研究. 第 41 号 46-53.
- (5) 日本経済新聞電子版 2014 年 8 月 18 日記事: [http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG1803L\\_Y4A810C1CR8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG1803L_Y4A810C1CR8000/)、(2016 年 3 月確認)
- (6) えりも町「えりも町史」1971. pp1099
- (7) 様似町「改訂様似町史」1992. pp877.

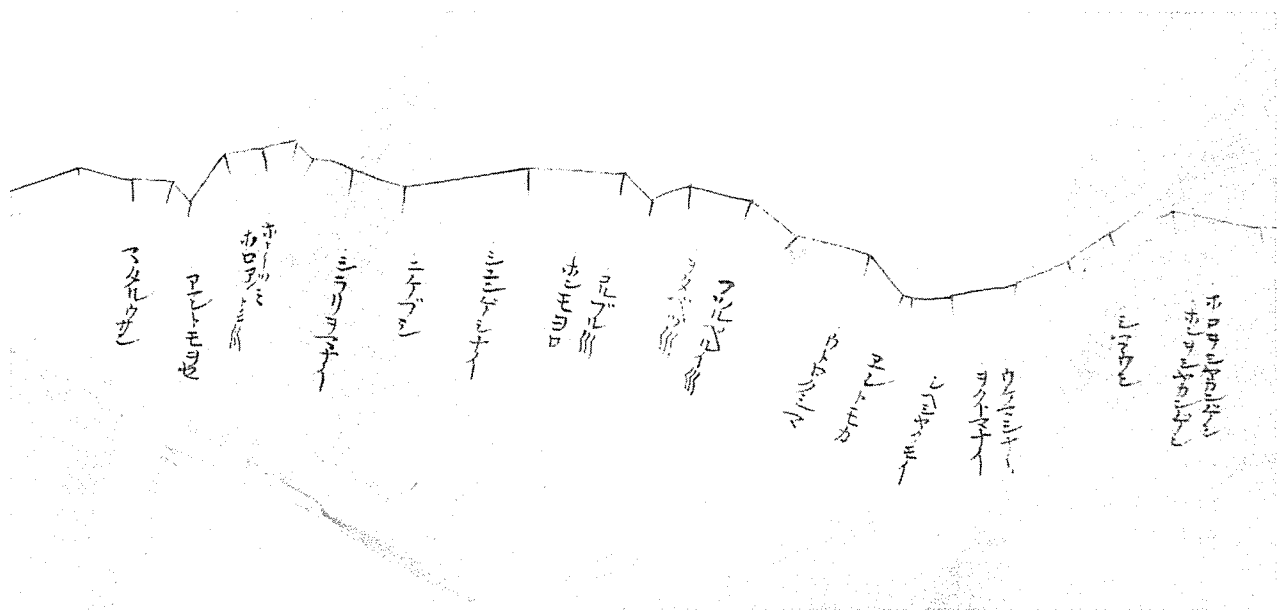


図 5. 「自シヤマニ至ホンヒタネシゲ下図」のホロイツミ付近拡大  
(伊能忠敬記念館蔵)

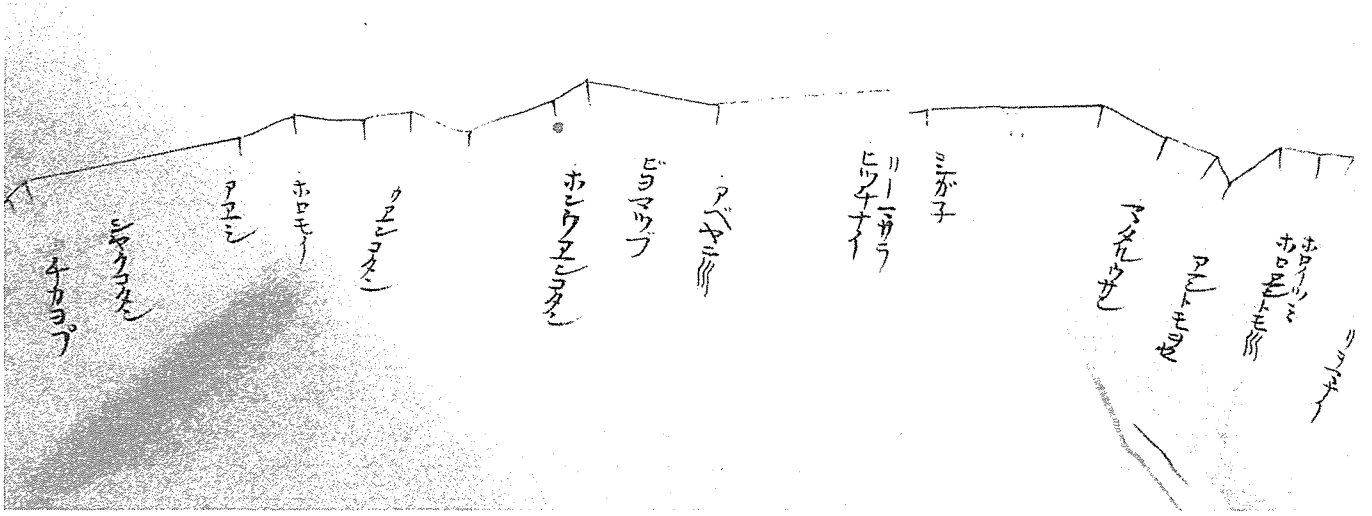


図6. 「自シヤマニ至ホンヒタネシゲ下図」のチカヨブ～ホロイツミ付近拡大  
(伊能忠敬記念館蔵)

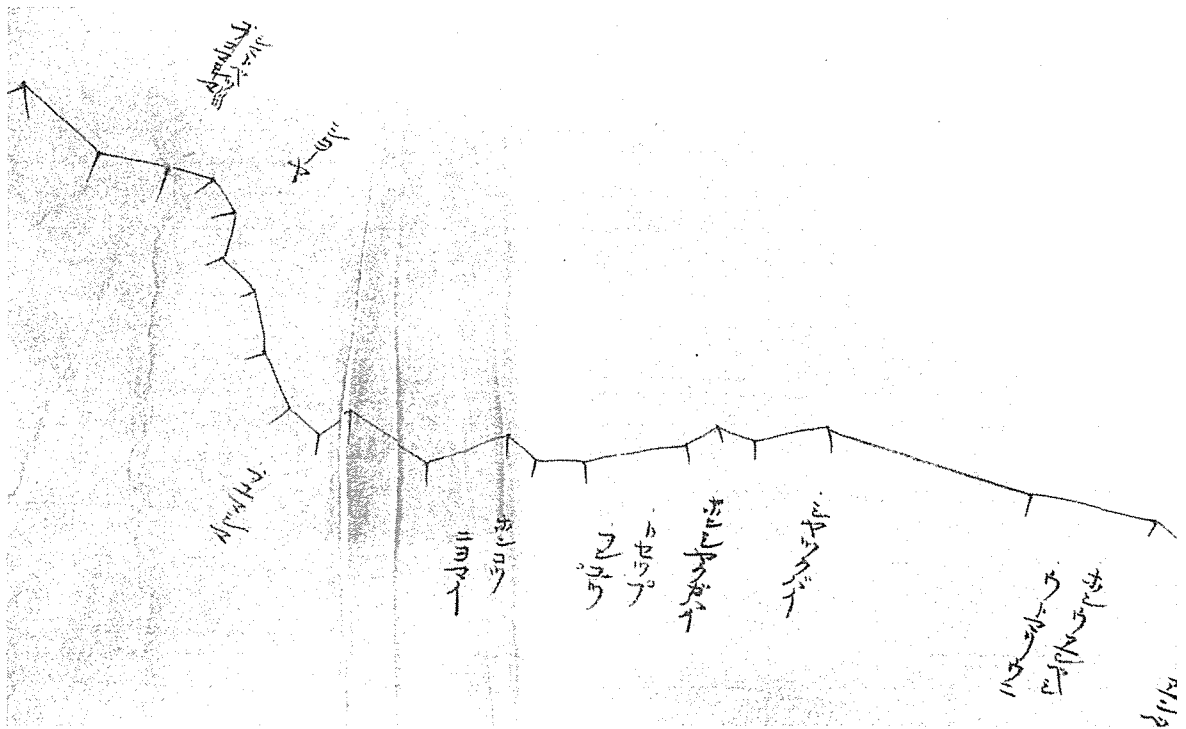


図7. 「自シヤマニ至ホンヒタネシゲ下図」のシヨウヤー付近拡大  
(伊能忠敬記念館蔵)

表1. 伊能忠敬記念館蔵「自シヤマニ至ホンヒタネシゲ下図」「アメリカ伊能大図」の地名とえりも町史・改訂様似町史との比較(1/3)

伊能忠敬記念館		アメリカ伊能大図	えりも町史 改訂様似町史	備考
自シヤマニ 至ホンヒタネシゲ下図				
001	シヤマニ			
002	レフヌレカルベ	レフヌカルベ	エンカルウシ	
003	シヤマニ	シヤマニ	サンマウニ	
004	カ子カルシ		カネカラウシュナイ	
005	ヒラウトロ	ヒラウトル	ピラエト° ナイ	
006	ホンピラウトロヲマナイ		ピラエト°	
007	モムベツ川	モンベツ川	モンペト° ツ°	
008	シラリヤ		シラリ	
009	シラリヤイト	シラリヤイト	シラリエト°	
010	ブユマシマ		ブユシュマ	
011	ライクレ子アイ	ライクレ子アイ	ライクンナイ	
012	ヲシユツクシ		オソーケシナイ	
013	メナシトマリ		メナシドマリ	
014	コトニ		コトネイ	
015	ヲムケベシ		ヨムケベシ	
016	ヲヨイ		オヨイ	
017	イハライ	イワオイ イワオイ岬	イワオイ	
018	チャラセナイ			
019	ルウエラ		ルエランベツ	
020	子ンブツサカ			
021	チバトイ		チワトト° イエ	
022	ホロマンベツ川	ホロベツ川	ポロマンベツ	
023	ヒトツケブ			
024	ウエンベ		ウエンペシ	
025	シヤヌシナイ		サルシュナイ	改訂
026	ルサキ		ルサキ	様似町史
027	ニカンベツ川		ニカンベツ	↑
			ニカンベツ	↓
028	ベシイトエー			えりも町史
029	チカヨブ		チカヨップ°	
030	シヤクコタン	シヤクコタン	シャコタン サクコタン	
031	アエシ		アユシ アイユシ	
032	ホロモイ	ホロモイ	ホロムイ ポロモイ	
033	ウエンコタン		ウエンコタン	
034	ホンウエンコタン		ホンウエンコタン	
035	ビヨマツブ		フィマフ フィマイ プイオマヒ	
		アベヤニ	アベヤキ	
036	アベヤニ川	アベヤニ川		
037	ヒツチナイ		チャツナイ	
038	リーマサラ	リーマサラ		
039	コンガ子		コンカネ	
040	マタルウサン		マタロ マタノマ マタルサニ	
041	アエトモヲセ			
042	ホロエントモ川			

表1. 伊能忠敬記念館蔵「自シヤマニ至ホンヒタネシゲ下図」「アメリカ伊能大図」  
の地名とえりも町史・改訂様似町史との比較(2/3)

伊能忠敬記念館		アメリカ伊能大図	えりも町史 改訂様似町史	備考
自シヤマニ 至ホンヒタネシゲ下図				
043	ホロイツミ	○ホロイツミ	エンルン ホロイツミ	
044	シラリヲマナイ		シラヌマナイ シラルオマナイ	
045	ニケブシ	ニケブシ	ニキベツ ヌキプシ ヌキフシ	
046	シヨンゲシナイ		シンケシナイ シュンケウシナイ	
047	ホンモヨロ	ホンモヨロ	ポンモヨロ	
		コロフル	コロップ コロフ	
048	コロブル川			
049	ヲタベツ川	ヲタヘツ川	ウタベツ オタペツ	
050	フツルペルイ川	フツフペルイ		
051	ウトロクシマ			
052	エントモカ		エンドモカ	
053	シヘシヤクモイ		シュマウシ	
054	ヲクトマナイ		オクトマナイ ホリトマナイ	
055	ウケマシナイ		ウケマンナイ	
056	シマウシ		シュマウシ	
057	ホンヲシヤカンゲシ		サカキシ サカキウシイ	
058	ホロヲシヤカンゲシ		ポロサカキシ	
059	ヨウコシ	ヨウコシ		
060	カムヨマナイ	カムヨマナイ	カムイオマナイ	
061	モントモヲロ	モントモヲロ		
062	チカフノコイ			
063	ヤンケベツ川		ヤギベツ ヤンケベツ	
064	ウルセシ			
065	ヲチヨロシケ		ヲチヨロスケ オシヨロシケ	
066	シヤムチセ			
067	ウコモ			
068	アブラコマイ	アフラコマイウコシ	アブラコマ	
069	ホロチヨトマリ		チエマトマリ	
070	ホンテシケー			
071	アブライコイ			
072	ホロラシケ			
073	シヨツケワタラ		シヨツケワタラ ソッキワタラ	
074	マチ子ワタラ		マツネシュマ	
075	エリモ甲	エリモ岬	エリモ オンネエンルム	
076	ピン子ワタラ		ピンネシュマ	
077	シヤマンベチハトイ		シヤマンベウタ	
078	ホルマイ		フララムイ フラリモエ	
079	ヲクシ	ヲクシ	オコシ オクシ	

表1. 伊能忠敬記念館蔵「自シヤマニ至ホンヒタネシゲ下図」「アメリカ伊能大図」の地名とえりも町史・改訂様似町史との比較(3/3)

伊能忠敬記念館		アメリカ伊能大図	えりも町史 改訂様似町史	備考
自シヤマニ 至ホンヒタネシゲ下図				
080	ニヨマイ		ニヨムイ ニヨムイ	
		ホルマイ		
081	ヲユイマシ		オコイマウシ	
082	シマウシ		シュマウシ	
083	ホンヲレベツ	ホンヲレベツ	ポンオリベツ オウレベツ	
084	キウレベツ			
085	トアベツ川	トアベツ川	トマベツ トマムベツ トワベツ	
086	キスケ		キスケ キシケ	
087	コノトンベ川			
		ヲトシヤ川	オトベ	
088	アプチ川		アフチ	
089	チペシヤーヤ		チピラソヤ チプランソヤ	
090	シ子トマツ	シ子トマリ	シネライ シネライウシイ	
091	ヅユマシマ			ママ
092	シトマベツ川		シトマベツ シトマウンベツ	
093	ショーヤ	○ショーヤ	ショウヤ ショヤ	
094	ヅユマシマ	フユマシマ		
095	ニヨマイ		ニヨモイ	
096	ホンコツ		ボンフンコツ ボンフムコツ	
097	フンユツ		フンコツ	
098	トセツプ		トセツプ トウセツプ トシセツプ	
099	ホンシヤツガハイ		ボンサクバイ	
100	シヤツクバイ	シヤツグハイ	サクバイ サクバイイ	
101	ウトマリウニ		ウトマウニ ウトルウエニ	
102	ホンウエンベシ			
103	ウエンベシ	ウエンベツ	ウエンベシ	
104	チパヤニ		チパヤニ チペヤニ	
105	サル、川	サル、川	サルル	
106	サル、	サル、	サルル	
107	ヲ子トブ川		オネトツプ オンネトツプ	
108	ヲキタブシベ		オピタルシペ	
109	ヒタ、ヌルゲ川		ビタタヌンケ	
110	ホンヒタ子シゲ	ホンヒタチシゲ		
	(ホ) 卵			ママ